

長泥地区の野菜の摂取制限・出荷制限が解除されました

昨年、一部で営農を再開した長泥地区では、その拡大を目指して、さまざまな取り組みが進められています。

そうした中で、7月1日、特定復興再生拠点区域（復興拠点）で栽培された野菜（ホウレンソウや小松菜などの非結球性葉菜類、キャベツや白菜などの結球性葉菜類、ブロッコリーやカリフラワーなどのアブラナ科花蕾類）の摂取制限と出荷制限が解除されました。また、出荷制限のみ続いていたカブについても同時に制限が解除されました。

検体の検査が進められた結果、全てで放射性セシウム濃度が非検出、もしくは食品衛生法の基準値（1キログラムあたり100ベクレル）を大きく下回っていたことから、国が、村、県などとの協議を経て、解除を決定したものです。長泥地区の復興拠点では、昨年からの栽培・出荷が再開されましたが、これにより野菜の栽培・出荷も可能になりました。



「復興再生土壌」活用農地での取り組み

長泥地区では、環境省が復興再生土壌を活用して造成した農地においても、村と県が主体となって、農作物の安全性を確認する試験栽培及び実証栽培を実施しています。

それらの農作業は、地区の営農組合と協力しながら行っています。左の写真は6月10日に第4工区で行われた定植作業のひとつです。

相馬地方広域消防本部からのお知らせ
9月5日に救急シンポジウムを開催します

相馬地方救急シンポジウム2026

相馬地方広域消防本部が主催する「相馬地方救急シンポジウム2026」が、鹿島生涯学習センター「さくらホール」（南相馬市）で開催されます。9月9日の「救急の日」にちなんだイベントで、「感染症」をテーマにしています。

令和8年9月5日（土）午後2時～午後4時 ※午後1時30分から受付
鹿島生涯学習センター「さくらホール」（南相馬市鹿島区寺内字迎田22-1）
入場無料

講演 Medical Excellence JAPAN 理事長 渋谷健司氏
「感染症とどう向き合うかー正しく恐れ、地域で備えるー」

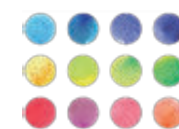
会場では午後1時から、相馬看護専門学校の学生による血圧測定・健康相談等も予定しています。他にも救急隊の取り組みの紹介や救急車の展示などが行われます。



ぜひお立ち寄りください！

問 相馬地方広域消防本部警防課救急係
☎0244-22-4165

こども園NEWS!



7月のできごとをお伝えします
までいの里のこども園／いいいて希望の里学園

5歳児の親子遠足



7月2日、までいの里のこども園の5歳児が、親子遠足で、須賀川市の「ムシテックワールド」を訪れました。昆虫の生態や科学の原理、ものづくりなどを、楽しみながら学べる施設です。

子ども達は、珍しい昆虫や身近な生き物の展示を、興味津々で見学。サイエンスショーでは、風の力をテーマにした実験に驚きの声を上げていました。楽しい体験を共にし、親子の絆を深めました。

福島ユナイテッドFCサッカー教室



6月25日、いいいてスポーツ公園で、株式会社ハヤシ製作所（白石）協賛のサッカー教室が行われました。講師は、福島ユナイテッドFCの清野通仁コーチと鈴木愛翔コーチです。ユーマアあふれる楽しい指導で、園児がサッカーを体験しました。4・5歳児対象の教室でしたが、途中からは応援していた3歳児も加わり、ボールを追いかけたり、PK対決をしたりするなど、元氣いっぱいサッカーを楽しみました。

学園NEWS!

防犯教室で安心・安全な生活を!



6月24日、いいいて希望の里学園で、南相馬警察署の署員を講師に、防犯教室を実施しました。教室では、不審者が校内に侵入した想定で訓練が行われ、教職員が、初期対応や「さすまた」の使い方を実践的に学びました。一方、児童生徒は避難訓練に続いて、不審者に遭遇した際の身の守り方の講習を受けました。大声で助けを求めたり、不審者の特徴を伝えたりする訓練に、全員で真剣に取り組みました。

星に願いを!たなばた会



7月7日、までいの里のこども園で「たなばた会」が行われました。園児達は手作りの星の冠をかぶり、色とりどりの浴衣や甚平に身を包んで「わんぱくほーる」に集合。七夕の物語に耳を傾け、「みんなの願いがかないますように」と、全員で七夕の歌を歌いました。また、「縄跳びがたくさん跳べますように」「毎日楽しく遊べますように」など、それぞれの願い事を発表し、星空に想いを馳せました。